

2012年12月期 決算説明会

2013年1月31日
協和発酵キリン株式会社

本資料には、当社（国内外の連結子会社を含む）の見通し、目標、計画などの将来に関する記述が含まれています。これらの将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報、予測をもとになされた当社の合理的な判断に基づくものですが、実質的にこれら記述とは大きく異なる結果を招く不確実性を含んでいます。

これら不確実性には、国内外製薬業界の事業活動に潜在するリスク、知的財産権にかかるリスク、副作用に関するリスク、法的規制リスク、製品の欠陥等の発生リスク、原燃料価格の変動リスク、製品市況価格の変動リスク、為替・金融市場の変動リスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

1. 2012年12月期 決算概況

取締役

常務執行役員 立花和義

1) 連結/医薬/バイオ/ケミカル

2) 主要医薬品製品別売上

2. 協和発酵キリングループ 総括

代表取締役社長 花井陳雄

2012年12月期 決算概況

取締役 常務執行役員 立花和義

売上高は化学品事業が連結除外になった影響が大きく減収
 営業利益*は医薬事業好調により、3期連続で過去最高益を達成

単位：億円	2011年 実績	2012年 実績	前年比	2012年 計画
売上高	3,437	3,331	△105	3,330
営業利益* (営業利益率)	466 (13.6)	529 (15.9)	+62	520
経常利益*	467	490	+22	465
当期純利益*	256	241	△14	230

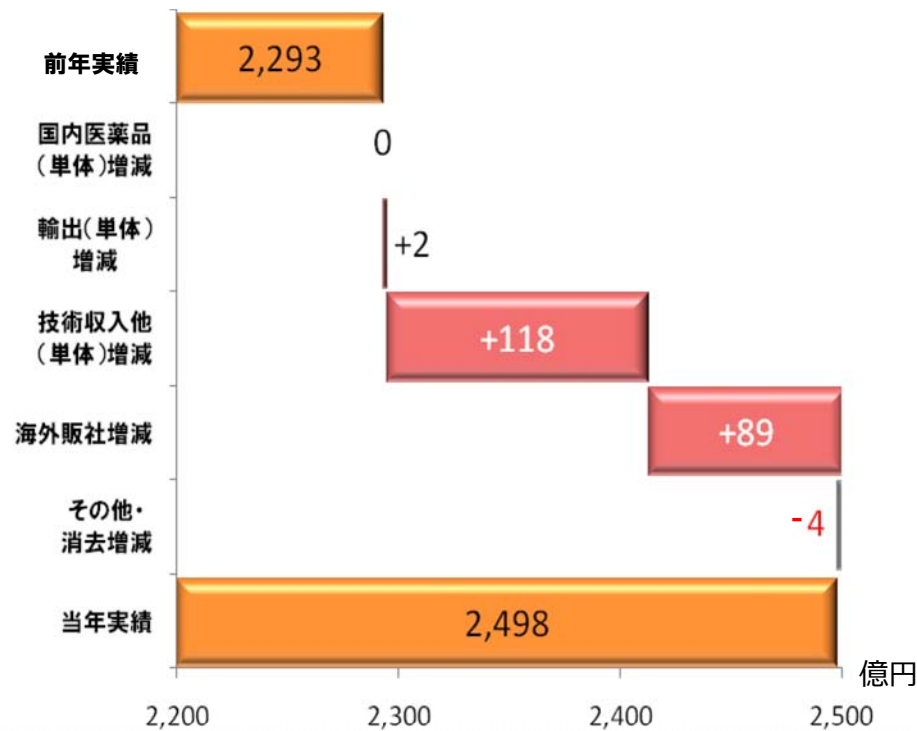
*：利益はのれん償却後利益で記載

薬価改定の影響を受けたものの、主力品が順調に推移
 バイオシミラー開発に係る技術収入の計上も連結に寄与

単位：億円	2011年 実績	2012年 計画	2012年 実績	対2011年 差分
売上高	3,437	3,330	3,331	△105
医薬	2,293	2,480	2,498	+205
バイオケミカル	775	790	769	△5
化学品	335	---	---	△335
その他	32	60	63	△30
営業利益*	466	520	529	+62
医薬	413	487	503	+90
バイオケミカル	28	30	21	△7
化学品	21	---	---	△21
その他	2	3	3	+1

*：のれん償却後利益で記載

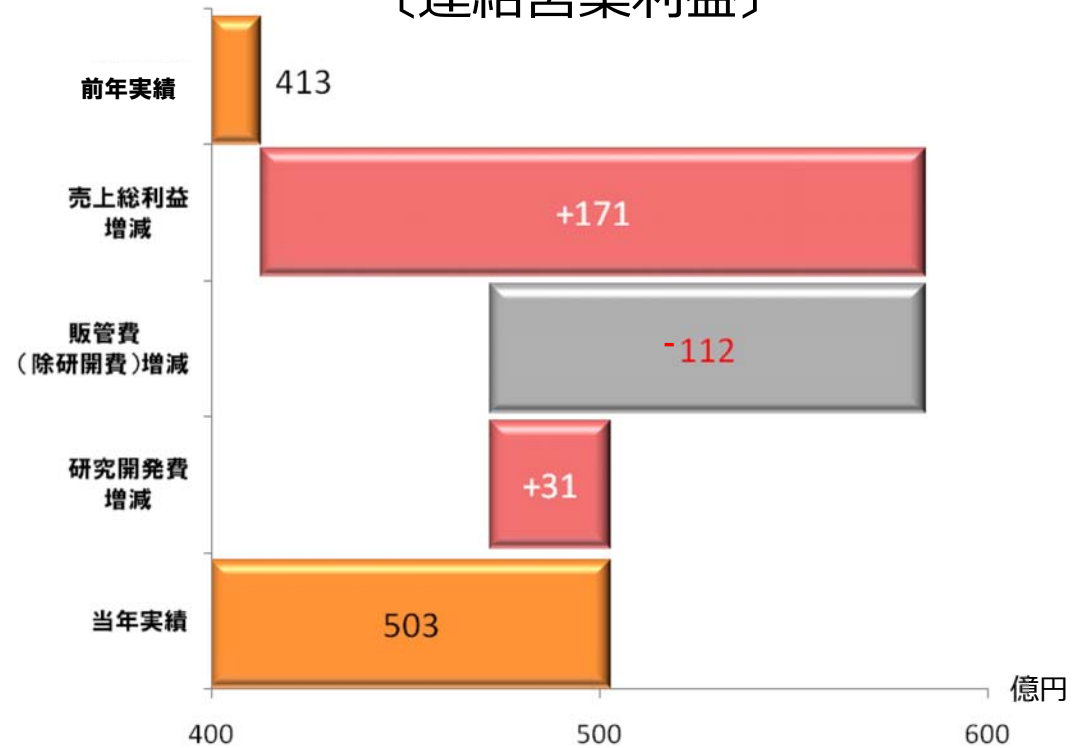
〔連結売上高〕



<売上高>

- 国内医薬品 (▲0億円) :
ネスブ、アレロック等の主力製品の伸長やレグパラ、フェントス、アサコール等の市場浸透により、薬価基準の引下げ等の影響を最小限に留めたことが要因
- 輸出 (+2億円) :
前年並み
- 技術収入 (+118億円) :
協和キリン富士フィルムバイオリジクス社 (以下、F K B) 関連の技術収入などが要因
- 海外販社 (+89億円) :
2011年下期から連結したProStrakan社 (以下、P S K) の新規連結影響 (2012年上期分) などが要因

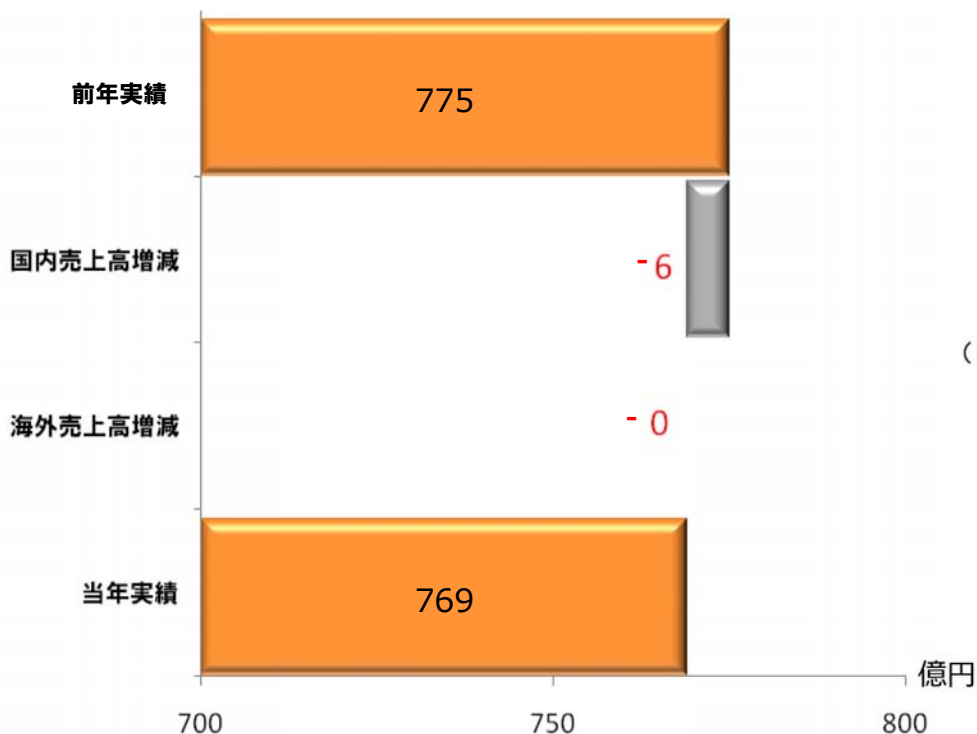
〔連結営業利益〕



<営業利益>

- 売上総利益 (+171億円) :
薬価基準引き下げ等の影響を数量増で最小限に止め、F K Bなどの技術収入、P S Kの新規連結影響などにより増益
- 販管費 (▲112億円) :
P S K社の連結に伴う費用増とサキサグリブチン導入による契約一時金の支払い費用増などが主因
- 研開発費 (+31億円) : 減価償却費の減少など

〔連結売上高〕



<売上高>

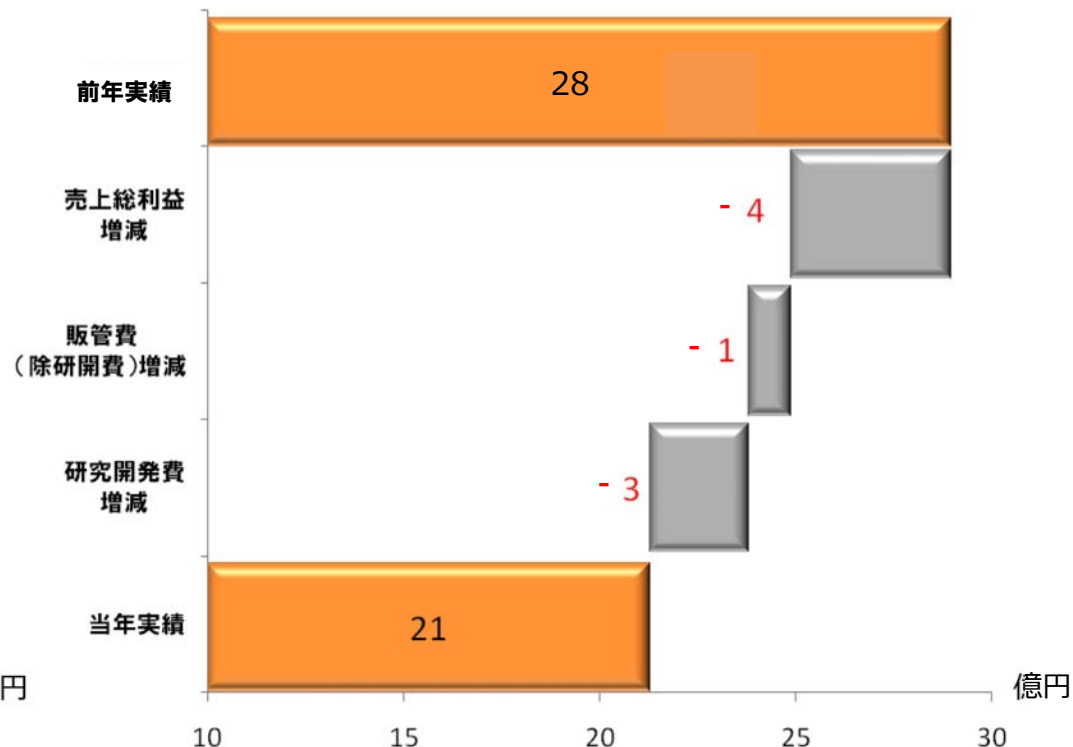
●国内売上高 (▲6億円) :

前年4Qから販売を開始した第一ファインケミカルのトラネキサム酸の販売数量が伸びたものの、連結グループ内外で設備関係のサービス提供や設備供給を行っている子会社にて、グループ外での工事受注の割合が前年に比べ減少したこと等により減収

●海外売上高 (▲0億円) :

アミノ酸を中心とした医薬・工業用原料は、需要が引き続き旺盛であり、販売価格の見直しなどを行い売上増となったものの、円高の影響を強く受け、前年並みにとどまる

〔連結営業利益〕



<営業利益>

●売上総利益 (▲4億円) : 円高の影響が大きく減益

●販管費 (▲1億円) : 前年並み

●研開発費 (▲3億円) : 医薬領域での将来に向けた投資

お手元の決算短信・決算短信補足資料をご覧ください

協和発酵キリンググループ 総括

代表取締役社長 花井陳雄

**国内外のパイプラインは、予定通りの開発マイルストーンを達成
新規パイプラインでは、2剤が FIRST IN HUMAN**

国内；

- ✓ パーキンソン病治療剤「アポカイン®」の発売
- ✓ がん性疼痛治療剤として開発中の「KW-2246」を申請
- ✓ 乾癬を対象とした「KHK4827」のPHASE2を開始
- ✓ 肝細胞癌を対象とした「ARQ 197」の PHASE1 を開始

海外：

- ✓ 米国にて、CTCLを対象とした「KW-0761」の PHASE3 を開始
- ✓ 欧米にてATLを対象とした「KW-0761」の PHASE2 を開始

新規パイプライン FIRST IN HUMAN 達成

- KHK7580 (カルシウム受容体作動薬・低分子)
- KHK4577 (抗炎症剤・低分子)

ARQ 197

アジアで市場が大きい肝細胞癌を中心に開発を推進

対象疾患	Stage	Status
NSCLC	EGFR-Wild	Phase3 Discontinued
NSCLC	EGFR-Mut.	Phase2 On going
胃癌		Phase2 On going
肝細胞癌		Phase1 On going

Remarks

併用試験での間質性肺疾患の発症

EGFR-Mut.はアジア人に多い

アジアに多くの患者。国際共同試験を計画

RTA 402

海外・国内での試験結果等を分析し開発方針を早急に判断

対象疾患	Stage	Status
CKD	Type2 DM	Phase2 Suspended

Remarks

2013年に開発方針を検討

KYOWA KIRIN

協和発酵キリングroupは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

本資料のお問合せ先

協和発酵キリン株式会社

コーポレートコミュニケーション部 03-3282-0009

APPENDIX

製品名	2011年実績 1-12月	2012年実績 1-12月	2012/2011 年比 (%)	2013年予想 1-12月
ネスプ	564	581	103	578
エスポー	53	39	73	35
レグパラ	115	134	116	141
アレロック	291	299	103	278
パタノール	114	102	90	114
アサコール	28	41	142	48
グラン	148	135	92	126
フェントス	31	46	148	55
輸出	92	94	102	92
技術収入	130	248	190	188

単位：億円

為替レート

	2011年1-12月	2012年1-12月	前年比
米ドル	¥80	¥80	△¥0
ユーロ	¥111	¥103	△¥8
ポンド	¥128	¥127	△¥1

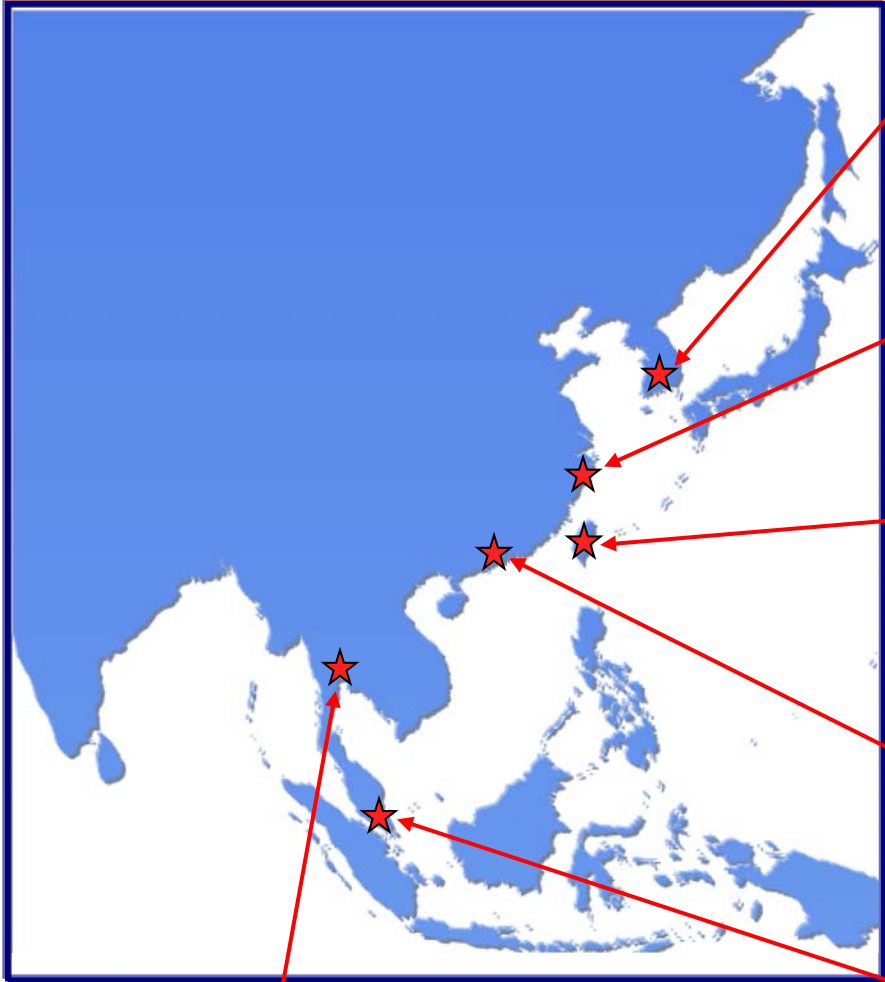
(期中平均)

為替影響

2012年1-12月期・影響額 (前年比)

	医薬事業	バイオミカ事業	連結
売上高	△2億円	△12億円	△14億円
営業利益	△3億円	△8億円	△11億円

アジア地域医薬ビジネス



タイ(連結対象外)
Kyowa Hakko Kirin (Thailand) Co.Ltd.

連結子会社 (設立年)	MRs	売上高(販社) 販売製品
韓国 (1991年5月設立) Kyowa Hakko Kirin Korea Co.,Ltd.	27	29億円 Nesp,Gran,Renagel,Regpara Busulfex,Leunase, Mitomycin C,Nplate
中国 (1997年6月設立) Kyowa Hakko Kirin China Pharmaceutical Co., Ltd.	124	29億円 Gran,Espo,Busulfex,Coniel, Mitomycin C,Leunase, Allelock
台湾 (1992年4月設立) Kyowa Hakko Kirin (Taiwan) Co.,Ltd.	19	21億円 Nesp, Gran,Regpara, Mitomycin C,Busulfex, Leunase,Neulasta
香港 (1993年8月設立) Kyowa Hakko Kirin (Hong Kong) Co., Ltd.	6	5億円 Aranesp, Renagel,Regpara, Mitomycin C, Leunase, Busulfex,Nplate
シンガポール (2005年3月設立) Kyowa Hakko Kirin (Singapore) Pte.Ltd.	7	3億円 Gran, Nesp,Busulfex, Mitomycin C,Regpara , Peglasta,Leunase,Nplate

(2012年12月末現在)

◎ : 発売中, ○承認済み, ☆ : 申請中

	韓国	中国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	フィリピン	インドネシア	ベトナム
Espo		◎								
Nesp	◎	Phase 2	◎	○	◎	◎	◎	○		
Aranesp				◎						
Renagel	◎			◎						
Gran	◎	◎	◎		◎	◎	◎	○		◎
Peglasta					◎	◎	◎	◎		○
Neulasta	○		◎							
Nplate	◎		○	◎	◎		◎			
Busulfex	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
Regpara	◎	☆	◎	◎	◎	☆	☆	☆		

2011年12月末より進捗した開発品目

(2013年1月24日現在)

アジア市場における開発・販売状況②

KYOWA KIRIN

◎：発売中，○承認済み，☆：申請中

	韓国	中国	台湾	香港	シンガポール	タイ	マレーシア	フィリピン	インドネシア	ベトナム
Mitomycin C	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
Leunase	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
Coniel	◎	◎	◎					◎		
Allelock	◎	◎								
Sancuso			○	☆	☆		☆			
ARQ 197 Gastric Cancer	Phase 2 (MRCT)*1									
KHK4563	Phase 2 (MRCT)*1									
KW - 2478								Phase 1/2 (MRCT)*1		
KRN321 MDS*2	Phase 2 (MRCT)*1									
KHK2898					Phase 1					

2011年12月末より進捗した開発品目

*1 MRCT: Multi Region Clinical Trial (国際共同治験)

*2 KRN321 MDS: 骨髄異形成症候群に伴う貧血を対象としたネスブの治験

(2013年1月24日現在)